

「H29九州農政局むらの宝」に選定

くまもとジビエ研究会

地域の“やっかいもの”を“美味しいもの”へ！



正式授業となった調理専門学校での鹿解体実演



鹿モモの精肉加工体験



店舗シェフ対象の芯温実証テスト

取組概要

- H24年設立。猪・鹿肉を供給する処理加工施設(11施設)、流通卸業1社、県内の飲食店47店舗、これらのコーディネートを担当する事務局により構成。
- 秋・冬の1ヶ月間、加入店舗でジビエ料理を提供する「くまもとジビエ料理フェア」、処理加工施設向けの解体処理技術研修、飲食店向けの産地視察研修と「加熱と美味しさを両立させた調理技術」の研修、調理師養成学校でのジビエ特別授業などを実施。

活動成果

- 処理加工施設の新たな販売先も増え、多くの施設で売り上げが増加。
- 販売形態も1頭・半頭売りといった「売る側の都合」による商品づくりから、500gや1kg単位での少ロット販売が中心になってきた。
- 飲食店も、秋冬を彩る熊本の名物フェアとしての認知も進み、フェア期間に限らずジビエ料理を提供する店も出てきた。

くまもとジビエ研究会

熊本県熊本市中央区水前寺6丁目47-18 Tel : 096-381-6228 Fax : 096-381-6229

てんめい 天明環境保全隊

守り伝えよう地域の環境と文化～地域、学校教育、福祉との連携



水源涵養林 下草刈り



環境学習 炭焼き



銭じゃこ太鼓の曳き回し

- H19年に31集落の全住民、各種団体により設立。水源涵養林の育成、緑川河口での野焼きや海浜清掃を実施。景観形成、化学肥料低減のため、毎年200haでレンゲを作付。
- 引き継ごう郷土の文化！をテーマに協議会を立ち上げ、漏れない節、あげたかな等を伝承。
- 年10回程度、天明の全小・中学校で出前講座を開催。

活動成果

- 人々が集う共同活動から様々な連携活動に発展してきた。
- 福祉事業所も清掃活動への参加や、米・野菜栽培にも取り組む。単一集落では難しかった伝統行事等は地域連携で復活。さらに、行政や農漁民と連携し、花植えや野焼きも実施している。
- 天明から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。都市部と地元小学校が田んぼの学校を開催し、交流している。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

農事組合法人 つるばみ 鶴喰なの花村

鶴喰のおばあちゃんのおにぎりはでっかい。



試験ほ場での特別栽培米の取組み



田植え後の風習「さなぼり」

菜の花ウォーキング大会

取組概要

- 「自分達の集落は、自分達で守る」との思いで、H29年、集落営農を法人化。
- 美味しいと評判の米を法人の主力商品とし、その直売に向けて、「坂本ふるさとまつり」や「関西熊本県人の集い」でPRや予約販売を実施。
- 都市住民を招いた田植え後の「さなぼり」や収穫祭、水稻後作の菜の花やレンゲの景観を楽しんでもらう「菜の花ウォーキング大会」を開催。

活動成果

- 集落営農の法人化で、休耕農地も含めて環境にやさしい農業の展開が可能となった。また米の特別栽培によるブランド化だけでなく、高収益野菜の生産や漬物加工など6次産業化も進みはじめた。
- 「さなぼり」、収穫祭、「菜の花ウォーキング大会」では、大きなおにぎりと煮しめ、漬物、まんじゅう等手作り料理でのもてなしも好評で、地域外からの客が増加。

八代市役所農林水産政策課坂本農林水産地域事務所

熊本県八代市坂本町坂本4228-12番地

Tel :0965-45-2363

Fax :0965-45-8891

「H28九州農政局むらの宝」に選定

やつしろ菜の花ファーム 987

い草・畳表(畳)の継承と菜の花プロジェクト



菜の花商品



ドライフラワー作り 修学旅行生



い草商品(カラー畳表・ドライフラワー・市松柄寝蓑産)



菜の花米の稲刈り

取組概要

- 「い草」を主に経営。菜の花から始まる循環型農業や農商工連携により、菜の花蜂蜜、菜種油等を販売。油粕の自家製肥料で「菜の花米」を生産。さらに地酒や玄米黒酢等を商品化。
- 泥染めしない草から、カラー畳表を商品化し、輸出に着手。廃棄されるい草をドライフラワーに加工し販売。
- 食育活動として、菜の花畑での農業体験、菜の花ウォーク等を実施。

活動成果

- 循環型農業をベースにした6次産業化の取組みで、販売額は着実に増加。
- 菜の花種まきやい草ドライフラワー作りなどの農業体験、菜の花ウォーク等にはそれぞれ毎年約300人が参加し、食育イベントとして定着。
- 視察・研修団が年間150～200名。テレビ・ラジオ・雑誌・新聞などの取材も多く、農作業の合間を見て対応している。

やつしろ菜の花ファーム987
熊本県八代市鏡町宝出57

Tel :0965-52-0965 Fax :同左

ごかのしょう 五家荘宿の会

五家荘の宝を地域の誇りへ



おせちのコンセプト作り



ホリューム感の確認試作

各料理を真空包装し販売

取組概要

- 8軒の民宿でH19年に設立。利用客に評判の良いジビエ、山女魚、山菜を利用した料理をおせち料理のセットにして販売。また若い世代へ継承するため、レシピを共有。
- 料理24品目中19品目の材料は地区内産を採用。山菜の収穫や梅干づくりなどで住民の所得向上を図っている。
- 販売方法は宿泊客が宿に設置のポスター、チラシを見て申し込む。ダイレクトメールでの販売勧誘も実施。

活動成果

- 原材料の提供者が増え、安定的な供給体制を構築。材料の価格も変動させないことで生産者が安心して納品できる仕組みが確立。
- 協働での商品開発の相談を受けるようになり、山口県の実業会社との柚子茶の製造受託や尚絅大学栄養科との摘果桃の新商品開発に着手。
- 梅干しづくりなど高齢者が活躍することで、大きな生きがいになっている。

五家荘地域振興会(事務局)、商品開発担当: 中村

熊本県八代市泉町椎原148

Tel : 0965-67-5888 Fax : 同左

みなまたしくぎの 水俣市久木野地域振興会

日本一の棚田(自称)のむらづくり



水源の森づくり21haの広葉樹林

ベテラン主婦を講師とした食べ物作り体験

450人を迎えるしし鍋マラソン

取組概要

- H6年に都市・農村交流拠点「愛林館」が整備されたのを契機に設立。棚田等の地域資源を活かして様々な事業を展開。
- 棚田米の味噌、地元素材によるタイラーなど加工品の製造販売、食べ物作り体験、ボランティアを募集して行う「水源の森づくり」などを実施。
- 「しし鍋マラソン」、「棚田のあかり」などの交流イベントを実施。

活動成果

- 農産加工、各種体験等の事業収入が年間約1400万円あり、研修や体験には全国から年間約1200人が訪れるなど地域経済の活性化に貢献。
- 「水源の森づくり」やイベントでは都市住民ボランティアを多数受け入れ、多くのリピーターが山村の応援団となっている。
- 当会の活動は若者の移住定住にもつながり、Iターン者は10人に及ぶ。

久木野地域振興会

熊本県水俣市久木野1071番地の4

Tel :0966-69-0485 Fax :同左

うとめし 宇土飯を喰らう会

宇土の生産物を宇土の景観の中で喰らう！



第一回目の朝飯メニュー



参加者も配膳に協力

取組概要

- 「一汁一菜一景」をコンセプトに、宇土で取れた生産物を、宇土の景色の中で食べる朝ご飯イベントをH28年よりメンバー11人で企画実施。
- H29年は「長部田海床路(ながべた・かいしょうろ)」において、宇土のお米、海苔、卵、醤油、味噌、貝等を使用して3回実施。参加者は20～30名。
- 協力頂いた方々をホームページ上で「宇土のTAKARA」として掲載。

活動成果

- 朝ご飯イベントの活動を通して、宇土の生産者(海苔漁師、農家等)との繋がりが増えてきている。
- 実行メンバーとしての参加も増えてきており、地域活動に対しての広がりが出てきている。
- TV・新聞等にも多く取り上げられ、宇土の食材や景観等のアピールができ、宇土のPRに貢献。

宇土飯を喰らう会
熊本県宇土市走潟町2235

E-mail : info@uto-asameshi.net

おいだけ
老岳集落

小さな農村のみんなで作る！住民総活躍地域



手作りの「リアルかかし」



イベントでの野菜等の販売



加工を担う女性部の皆さん

取組概要

- H12年より農道等に彼岸花の植栽を開始。H23年から「山菜と彼岸花の里ウォーキングと秋の味覚祭」を開催。
- H27年から地元小学生等も参加する「田んぼアート」や「リアルかかし」の設置に取り組む。
- H28年に加工施設を整備。地元食材を使った惣菜等の製造販売に着手。加工用農産物の品目を増やすとともに、学校給食への米等の供給を拡大。

活動成果

- イベントや田んぼアートにより来訪者が年々増え、それに伴い地域住民の所得向上の意欲も高まり、加工施設の整備による惣菜の製造販売等に結びついた。
- 学校給食の上天草産の利用率はH27の25%からH28は33%へ向上。
- 住民みんなが役割を持って活躍し、活動に伴った収入が得られるようになってきている。

上天草市役所 農林水産課(問合せ先)
熊本県上天草市大矢野町上1514番地

Tel :0964-26-5516 Fax :0964-56-4972

「ディスカバーむらの宝(第4回)・グランプリ」に選定

NPO法人 ASO 田園空間博物館

田園空間博物館の理念で地域おこしと復興を



国別対応人数(H28年度)

順位	国別	人数
1	フランス	252
2	香港	159
3	中国	147
4	ドイツ	131
5	台湾	122

観光案内所の様子と国別対応人数(表)

地震後の販売所と通販のチラシ例

取組概要

- インバウンド需要に対応するため、多言語対応の観光案内窓口を設置。また、留学生対象の地域散策イベント、7カ国の留学生による自国に向けたSNS等での情報発信を実施。
- 地元高校とのコラボにより、草原の維持に重要な「赤牛」の消費拡大を目的として、弁当を開発・販売。
- 地震により道路が遮断された中で、生産の継続、復興に向け、地域特産品の通販事業を強化。

活動成果

- 観光案内所での外国人案内数はH24年の1800人からH27年は3000人に、フランス語ブログアクセス数はH26年の500件からH28年は1万5000件にそれぞれ増加。
- 高校生プロデュース弁当の売上高はH25年の200万円からH27年は536万円に増加。草原維持再生にも貢献。
- 阿蘇の特産品に特化した通販事業はH28年に約3,883万を売り上げ、地域生産者の事業継続に寄与。

NPO法人ASO田園空間博物館
熊本県阿蘇市黒川1440-1

Tel :0967-35-5077 Fax : 0967-35-5085

草原再生オペレーター組合

世界農業遺産認定の阿蘇の草原を守りたい！



草原再生オペレーター組合員と作業機械



採草作業

野草ロール

取組概要

- 20～50代の若手農家で組織する組合。農閑期や農作業の隙間時間を利用して未利用野草を収穫し、飼料や堆肥の資材として販売。
- 自治体や牧野組合からの情報・要望により未利用草地を選定。大型トラクターで採草後、ロールにし、飼料用はラッピングして保管。
- 採草したロールは、刈取り時期や状態に応じて飼料や堆肥・マルチ用として阿蘇地域内外に販売。

活動成果

- 採草面積は年々増加し、H24年の18.9haからH28年には101.7haとなっており、持続的な草原保全に貢献。
- 販売売上も、H24年の261万円からH28年には754万円と大幅に伸びている。組合員数も13名となり、地元若手農家の雇用創出にもなっている。
- H28年1月に、野草から作物の病害虫を予防する善玉菌が多量に発見され、その報道が野草販売を後押し。

<事務局> NPO法人九州バイオマスフォーラム

熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816

Tel : 0967-22-1013

Fax : 0967-22-1014

公益財団法人 ^{あそ}阿蘇グリーンストック

阿蘇への恩返し



野焼き支援ボランティア 輪地切り

輪地焼き

野焼き支援ボランティア研修会

取組概要

- 1995年の発足以来、草原保全に向けて活動。その一つとして市民ボランティアによる野焼き・輪地切り支援活動は、阿蘇千年の草原の歴史の中でも初めての取組として、都市と農村さらに行政が連携し、広大な草原を守っている。
- 九州を始めとして全国から野焼き支援ボランティアを募り、研修会を開催。
- 活動人数は年々増加しており、2016年度は63牧野で延べ約2,400名のボランティアが支援活動。会員数は800名超。

活動成果

- 支援活動を継続すると共に、野焼きの減少に歯止めをかけて、阿蘇の環境保全と再生に寄与。牧野面積は約5000ha、阿蘇の焼き面積の4分の1以上。
- 環境省とも連携し、草原を再生。国立公園の草原景観と希少動物の維持保全に大きく貢献している。
- マスコミに取り上げられる機会も多くなり、学生や地元の人達の参加も少しずつ増加。地元でも草原保全の意識が高まってきている。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック(公益事業課)

熊本県阿蘇市小里656-1

Tel :0967-32-3500 Fax : 同左

かぐらえん
株式会社 神楽苑 なみの高原やすらぎ交流館

ムラが輝き、夢広がる地域の創造！



家庭料理レストラン



森林教育・林業体験



遊びと癒し活動

取組概要

- 廃校利用の体験交流型宿泊研修施設を拠点に、住民グループと連携し、地域資源を活かした活動を展開。毎月第2日曜日に、地域の旬の食材を用いた家庭料理をランチで提供。
- 農林家団体と連携し、地元の子供達や、県内の高校・大学生等を対象に森林教育・林業体験の受入を実施。
- 地震の余震で怯える子供、お母さんの心をケアする為、災害ボランティア団体と連携して、体験活動を実施。

活動成果

- 家庭料理レストランの取組みにより、地域の農産物を活かした食の技が見直され、新たな特産品(キャベツメンチ)も生まれた。
- 森林教育等の展開で、体験活動の種類も広がり、体験を受入れる住民と、参加者との交流も根付き始めた。
- 震災直後からの遊びと癒し活動により、子供・お母さんを通して地域に笑顔が戻り、復興支援者も含めた交流ネットワークが広がった。

なみの高原やすらぎ交流館

熊本県阿蘇市波野大字小地野663-1

Tel :0967-23-0555

Fax : 0967-23-0556

こうし 「合志あぐっと！村」運営協議会

都市と農村の交流による魅力発信活動
 (「なんもなか！」それが農村の隠れた魅力！)



地産地消料理教室



野菜販売会「元気市」



そばの種まき体験

取組概要

- 地元の若手農業者を中心に消費者・生産者・IT関係団体や市職員などで組織。消費者と生産者との交流促進に向け、多彩な活動を展開。
- 新鮮野菜の販売会、地産地消料理教室、そばの種まき・収穫・そば打ち体験会、小学生の田植え・稲刈り体験会、酪農家見学会、食や農にまつわる講演会等を実施。
- 活動状況等は映像コンテンツやSNS等で情報発信。

活動成果

- 各種の体験は都市部の人にとって非日常を体験できる機会となっており、イベント開催に対する問合せも増加。
- 地元若手農家にとっても直接消費者と交流ができ、消費者から農業・農村が評価されることで、元気をもらっている。
- 小学校に限らず幼稚園や保育園などから農業体験の希望や問合せが増えており、社会福祉事業の農業体験の受け皿にもなっている。

「合志あぐっと！村」運営協議会(合志市役所企画課内)

熊本県合志市竹迫2140

Tel :096-248-1813 Fax :096-248-1196

みずかみさこ

水上迫生活研究グループ

スコップの音と共に、集落一丸の地域活動



地元小学生に出前伝承料理講座



なべぶた劇団 楽器はスコップや鍋

取組概要

- 水上・迫の2集落の農家女性15名でS57年に結成。以降、農村生活の改善に向けた活動を展開。
- 共同による味噌加工・そば栽培とそば打ち・手作りほうきの加工販売、小学校での山菜おこわ等の料理教室・しめ縄づくり等の伝承活動、月1回の高齢者サロンへの昼食サービス、自衛消防活動等を実施。
- 「なべぶた劇団」の公演、フットパス受入時の縁側カフェなど交流活動を実施。

活動成果

- 集落の多様な人材を活かしていることが、35年に及ぶ活動の継続に結びついており、女性グループ活動の模範となっている。
- 世代間交流、自衛消防などの企画・実施が、地域住民に受け入れられ、集落一丸の地域活動となっている。
- 劇団活動は、農村や家庭の身近な課題を方言で表現していることが人気で、町内外から公演依頼も多く、参加者の生きがいにもなっている。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野1575

Tel :0964-48-0235 Fax :同左

まき 真木地区協議会

豊かな緑と湧水・歴史に薫る元気な里山！



田植え体験 7団体が二日間に分かれて実施



元気塾での体操の様子



交通弱者対策の研修

取組概要

- 地区住民と行政等で組織。都市住民との交流活動、遊休農地の解消、高齢者支援にH27年に着手。
- 田植え・稲刈り体験等の交流活動を実施。地域住民による遊休農地の除草等を行い、一部作付可能とした。
- 高齢者の健康増進に向け「元気塾・ふれあいサロン」を女性有志により開催。交通対策として、地域コミュニティバスの試験的運行、先進地研修を実施。

活動成果

- 平成27年度から始めた事業を通して、区民が地域の良さを再確認。各事業の展開の中で区民の連携が強固になった。
- 地域の豊かな緑と豊富な地下水によって、地域とそこに暮らす住民は育まれているという自覚が増した。
- 地域コミュニティバスの試験的運行の結果、運行曜日や時間帯、運行車両の小型化等の課題が明らかになった。

真木地区協議会

熊本県菊池郡大津町真木412-1

Tel :096-293-4558

Fax : 096-285-1672

株式会社 熊本玄米研究所

農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援します！！



米粉用米ほ場と玄米ペースト



「玄氣堂」店内



玄米パスタ麺 グルテンフリー

取組概要

- 栄養豊富な玄米を加工食品の原料とするため、製粉が難しい玄米を含水状態にしてペースト化する技術をH25年に開発。
- H26年より新規需要米を農家から集荷し、玄米ペーストパンを製造販売。H28年に工場を開設。新たに玄米ペーストを用いたパスタ麺を開発・販売。
- H29年はパン用「ミスホノチカラ」を18軒、麺用「越のかおり」を6軒の農家と契約。合計作付面積は23ha。

活動成果

- これまで約200t（作付面積約65ha）の米粉用米を集荷。主食用米が適さなかった地域でも作りやすいと好評。
- 自社店舗「玄氣堂」の売上は年間6千万円。購入客の大半は健康への関心が高い40～60歳の女性で県外のお客様も多い。
- 店舗以外に地元百貨店やスーパー、イベント等にも出店し、認知度が上がりつつあり、H29年度は量販店、通販などに販路を拡大。

株式会社 熊本玄米研究所
熊本県菊池郡菊陽町原水2897

Tel :096-340-5500 Fax :096-340-5511

ひごむらさきブランド化研究会

阿蘇の大地に恵まれた肥後一番の旬の味



ロゴマークを使用した個別包装

企業と連携した食育ツアー

取組概要

- 熊本赤なすの新品種「ひごむらさき」の認知度を向上させるため、ホームページの立ち上げや、メディアを使ったPR、物販時にはレシピ集も配布。
- 地産地消の推進のため、県内各地で行われる物産展や農業フェア等に出展。食育では、企業と連携した収穫体験や料理教室のツアーを実施。
- 販売促進活動においては、大消費地での知名度向上を目指し、東京都での販売や販促店舗の現地状況調査を実施。

活動成果

- 取組の強化により、大消費地での新たな展開や生産者のブランド化意識の向上に繋がっている。
- イベントでの物販、収穫体験や食育ツアー、テレビ等のメディアでの取り上げ、視察や大学生の研究受入等に伴い、県内はもとより、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透してきている。
- 「ひごむらさき」のブランド化を図ることにより、他の作物の生産者にも同様な意識が芽生えてきている。

事務局：高森町役場 農林政策課

熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地

Tel :0967-62-1111 Fax :0967-62-1174

あそなんごうひ 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～



高森阿蘇神社の御神木 ナンゴウヒと同一品種



テスト出品



育成技術研修会

取組概要

- 地域林業の活性化に向け、古くより郷土の宝として育てられてきたナンゴウヒを阿蘇南郷檜としてブランド化するためH26年より活動。
- 県内外から多数の購入者が参加する銘木展示大会において、阿蘇南郷檜の知名度の向上と新たな販路拡大を目指して、ナンゴウヒ原木を毎年テスト出品。
- 育成が難しいナンゴウヒの後継者確保に向け、指導林家を講師とした育成技術研修会を開催。

活動成果

- ナンゴウヒへの取組は、林家のみならず、山林所有者や地域住民の地域資源の再発見につながり、地域林業復活の契機となっている。
- 阿蘇地域の林家や林業関係機関、行政の連携体制構築により、継続性のある需要拡大やブランド化の推進等に対し、スピード感をもって取り組んでいる。
- 阿蘇地域のみならず、熊本県下の木材市場や製材企業へ注目度が高まり、購買意欲の醸成にもつながっている。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会(事務局:高森町役場農林政策課農林振興係)
熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 Tel :0967-62-1111(内線414) Fax :0967-62-1174

かあ パワフル母ちゃん

閉校校舎を活用して、地域をパワフルに！



取組概要

- 女性4人のグループ。H21年より小学校の廃校舎を活用して活動を開始。
- 昭和初期植栽の旧小学校の梅林を活用した「梅じゃむ」、未利用の柚子を使った「柚子こしょう」、地域の物にこだわった万能調味料の「たれ」を生産。
- 梅の収穫から「じゃむ」作りまでの実習を行う出前調理講座、地域イベントでの出店。季節ごとに開催するカフェ、敬老会等の地域行事で食事を提供。

活動成果

- イベントでの出店等の販売活動で加工品の認知度も上がり、需要が増え、生産に追われている。
- 地元NPOとの合同開催の地域イベントの集客数は年々増加しており、地域に活気が戻ってきた。
- 今後は、複数回照会のあった新たな加工品製造や、インターネット販売にも取り組みたい。

パワフル母ちゃん

熊本県上益城郡甲佐町小鹿358

Tel :096-234-0762 Fax : 同左

やまと NPO法人 山都のやまんまの会

合言葉は「A」明るく！「T」為になる！「M」前向きに！



まんま学校「秋編」参加者



活動拠点「山都フラット」



まんま学校「冬編」味噌づくり

取組概要

- 子どもに焦点をあてた地域づくりを目的に活動。地域や都市の子どもたち、保護者を対象に「食」「農」「暮らしの知恵」の体験・継承と交流の場を提供するために、「山都のまんま学校」を実施。
- 農業体験(田植え、稲刈り・掛け干し)と「かまど」でのご飯炊き、収穫感謝祭&棚田ウォーク等を実施。
- 活動の中心の女性たちが、地元住民との世代間交流を進めながら、子供たちと伝統文化を継承。

活動成果

- 年4回開催の「山都のまんま学校」を通じ、子どもたちが地元の達人との関わりの中で、地域の歴史や生業の姿などを知り、様々な生き方の選択肢や見識を広めることができた。
- 20～70代の多世代・異業種の女性グループであり、有機農業の先駆者、教師、デザイナー、ピアニストなど多種多様な人が愉しく田舎暮らしを満喫し、それぞれの活動フィールドの垣根を越えて活動。

山都のやまんまの会事務局((株)まちづくりやべ企画事業部)

熊本県上益城郡山都町浜町239-3

Tel :0967-72-1723 Fax :0967-72-1724

このみぞ 幸野溝土地改良区

世界かんがい施設遺産の里「水土里豊かな幸野溝で学ぶ！」



田んぼの学校



森林の学校



ウォーキングイベントでのおもてなし

取組概要

- 農地や水路等の歴史と役割、それらを維持管理している土地改良区について普及啓発を推進。
- 地域住民や子供たちが農作業体験を通じ、農業・農業用水について学ぶ「田んぼの学校」、植林等の体験学習を通じ、農業用水と水源林の関わりを学ぶ「森林の学校」を毎年実施。
- 地元のグリーンツーリズム団体の会員として、土地改良施設を活用し、カー等での水路下りや隧道体験を実施。

活動成果

- 普段体験することの少ない農業体験や植林間伐作業を体験してもらうことで、自然・農業の大切さ、水土里ネットの役割を周知することができている。
- 子供たちは「農業はおもしろそう、楽しそう」等、農業に対する意識の変化や、さらなる理解も深めてきており、リピーターも増加している。
- H28年に、当土地改良区が維持管理する「幸野溝・百太郎溝水路群」が「世界かんがい施設遺産」に登録された。

幸野溝土地改良区

熊本県球磨郡湯前町2065番地

Tel :0966-43-2062 Fax :0966-43-7155

国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト

球磨材高付加価値商品の販売による地域貢献



丸太状熱処理併用複合乾燥施設



球磨杉の製材品

取組概要

- 球磨地域は樹木の成長が早く、伐期の杉・桧の丸太は直径40cm超の大径木が多い。大径木はオートメーションの製材ラインに乗らないため、売れず、林家収入減少の一要因。
- 上球磨地域の林業・木材産業関係者・建材商社によりH18年に組織。
- 大径木丸太の有効活用に向け、「丸太状熱処理と芯去り製材手法」(SSD製造法)とJAS(機械等級区分)認証を活用し、球磨産製材品のブランド化推進。

活動成果

- 球磨杉・桧製材品の販売促進に努めた結果、販売額は急速に増加。湯前町・水上村で多くの雇用が創出。
- 昨年6月に大阪市で開催の建設資材展示会に出展。需要者から大きな反響を得、本年ログハウス第1号邸が完成。
- 今後これら製品の需要増加に伴い、近く熱処理・乾燥釜の増設を予定。地元でのさらなる雇用や、高付加価値商品の販売による原木買取量の増加が期待できる状況。

SSDプロジェクト・(株)紅中
大阪府大阪市浪速区幸町3-5-24

Tel :06-6568-0341 Fax :06-6568-0395

ゆやま 湯山温泉旅館組合

ジビエがアスリートを強くする 鉄脚！水上村



高地トレーニング施設「水上スカイビレッジ」



ジビエ調理講習会



鹿肉、猪肉、地元農産物の夕食メニュー

取組概要

- 村が今年開設した高地トレーニング施設の運用に併せ、アスリート達にジビエ料理を組合加盟の全宿泊施設で提供。
- メニュー開発はスポーツ栄養士が基本となるレシピを監修。各旅館でアレンジし、発表会を開催。競技関係者等の評価を受け改良。夏場から提供開始。
- ジビエと併せ、使用食材を地元物産館から調達。組合員が鹿肉の処理・加工施設を新設。精肉を各旅館に卸すほか、ソーセージ等の加工品を開発。

活動成果

- ジビエや地元の農産物の料理は、アスリート達のほか、一般客からも好評で、お土産やお取り寄せの要望も多い。
- 高地トレーニング施設のオープン後3ヶ月間で、合宿目的の宿泊実績は3,000人泊以上の見込みで、去年の宿泊観光客数の3割を超える。
- 施設と食事、サービスの良さから、来シーズンの合宿を予約する団体もあり、旅館側の設備投資も進むなど、地元には大きな経済波及効果。

湯山温泉旅館組合(市房観光ホテル)
熊本県球磨郡水上村湯山357

Tel : 0966-46-0234 Fax : 同左

田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

蕎麦ではじまる 地域の元気



取組概要

- 棚田百選「松谷棚田」の遊休農地解消に向け、集落支援員の指導の下、H27年に30aのそばの栽培に着手、3年目となる本年は50a作付け。
- 収穫した「そば」は、女性グループがそば料理、特産品の開発研究を行い、そばを使った加工品・メニューが誕生。
- 交流施設「さんがうら」において、「そば打ち体験モニターツアー」、そば料理を提供する「そばカフェ」を開催。村内外のイベントに積極的に出店。

活動成果

- 景観的に重要な場所に位置する遊休農地の耕作により、棚田再生への機運が高まった。
- そばの経営的栽培が無い地域だが、耕起、栽培から収穫、そばメニューの開発・提供まで6次化へ向けた一連の取り組みができるようになった。
- 「そばカフェ」、「そば打ち体験」や各種イベントへの出店により、認知度が上がりつつあり、交流施設への来館者数が増加。

球磨村役場 企画振興課

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel :0966-32-1114 Fax :0966-32-1230

ちゅうさんかんまつお 中山間松尾集落

遠山桜の再生と松尾集落の生き残り戦略



有害鳥獣防止柵及び電牧線の設置



大学生との交流研修会



ワラビの酢漬け

取組概要

- 戸数4戸の集落。一本桜として知名度の高い「天空に咲く遠山桜」の生育障害が発生したため、基金を創設し治療を継続。栗の収穫体験、大学生とのフィールドワーク等も実施。
- 山野で採れるワラビを酢漬けにする加工場を建設。付加価値向上に向け商品開発と販路拡大を実施。
- 鳥獣被害防止のため、守るべき農地を団地化、6.5kmの防止柵の設置や環境整備で、イノシシの被害がゼロに。H27年に農水大臣賞を受賞。

活動成果

- 有害鳥獣の研修来訪者の増加に伴い、ワラビの酢漬けが購入されるなど、地域経済に波及効果。栗の収穫体験や大学生とのフィールドワークにより、リピーターが増加。
- ワラビ加工・販売により、高齢者の生産意欲の増進と結束力の強化に繋がった。町の推奨商品に認定。物産館、道の駅など販路が拡大。
- 防護柵設置等により、鳥獣被害が無くなり、集落住民の生産意欲が高まり限界集落に歯止めがかかっている。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19

Tel :0966-45-5169 Fax : 同左

みどりの会

天草に^{てんじく}天竺がある



ツツジ祭り時の山頂を訪れる見物客



西遊記登山時の天竺山頂の様子



販売用郷土菓子「こっぱもち」作り

取組概要

- 「天竺」(下天草で最高峰)の山を地域の宝として活性化を目指し、平成15年の秋に初の登山会を実施。翌年から山頂一帯にツツジを植栽し、地元にも親しんでいただける公園づくりを目指した。
- ツツジが咲き誇るゴールデンウィーク時には、「天竺ツツジ祭り」を開催。麓に物産 TENT を設置し、地元産物を販売。
- 秋の紅葉時には「天竺天の川西遊記登山」と銘打ち、閉校した小学校跡地から山頂までの健康登山を継続して実施。

活動成果

- 春のツツジ祭り、秋の登山のイベント等を実施することにより、地区外からの流入による賑わいが見られ、地域全体に活気がみなぎってきた。
- イベントの際には、地元物産の販売を呼びかけ、これも定着しつつある。
- 継続して実施してきたことにより、「天竺の里づくり」として知名度が高まり、地区住民はその成果を実感できるようになってきた。

みどりの会

熊本県天草郡苓北町都呂々5174-6

Tel :0969-36-0576